



地元の海の恵みを、子どもたちへ

有限会社リアス海藻店 代表取締役 平野 嘉隆 さん

釜石市の学校給食へ海藻を納めているリアス海藻店では、釜石湾で育ったワカメや昆布を中心に加工し、子どもたちに地元の海の味を届けています。「海のものなかなか採れなくなってきた、価格も高くなっています。一般家庭でも海藻が以前より高価な食材になっている中で、こうして学校給食で地元の子どもたちに食べてもらえることはとてもうれしいです。」

また、地元の学校給食に関わることは特別な思いがあると平野さんは語ります。「地元の商品を地元の子どもたちに食べてもらえることは本当にありがたいことです。私たちのことや商品を知っていただく機会にもなっています。」

さらに平野さんは、地域の子どもたちへの思いをこう語ります。「子どもたちには地元のおいしいものを知ってほしい。そして将来大人になったときに、今度は自分たちの子どもへ伝えていってもらえたらうれしいです。」

学校給食には、栄養やおいしさだけでなく、地域の産業や文化を未来につなぐ役割もあります。今日も給食に並ぶワカメや昆布には、地元の海を守り育ててきた人たちの思いが込められています。

まると釜石給食試食会

地元産食材を使用した「まると釜石給食」の試食会を開催します。

- 日 時** 11月20日(金) 11時30分～13時
※ご飯を主食とした献立です
- 場 所** 釜石市学校給食センター（鶏住居町10-30-1）
- 費 用** 354円 ※当日集金
(おつりが出ないように必ずご準備ください)
※領収書の発行は行っておりません
- 定 員** 最大30人
市役所前からマイクロバスを運行します。
マイクロバスの定員は20人で先着順となります。
- 申込方法** 10月9日(金)までに、13時30分から16時の間に電話でお申し込みください。

※給食試食会のチラシは、市ホームページに掲載している他、市内各地区生活応援センターで配布しています

【まると釜石給食の献立例】



ご飯
釜石はまゆりサクラマスの塩こうじ焼き
大根のナムル風
三陸ワカメの味噌汁
りんご、牛乳



施設見学の様子



盛り付けの様子



試食の様子

問い合わせ 市学校給食センター ☎29-1271 (9月24日以降 ☎52-0110)

子どもたちの笑顔を支える人たち

子どもたちの笑顔と元気を支える学校給食。そんな学校給食には、毎日たくさんの食材が届けられています。その一食を支えているのは、野菜や米を育てる生産者や、安全に食材を届ける卸業者の皆さんです。子どもたちに安心・安全でおいしい給食を届けたい。それぞれの仕事に込められた思いやこだわりを伺いました。

地元の魚のおいしさを、子どもたちへ

平庄株式会社釜石工場 工場長 川畑 隆志 さん



平庄株式会社釜石工場では、サバやサンマ、サクラマスなどを加工し、学校給食へ届けています。川畑さんは「できるだけ地元の魚を子どもたちに食べてもらいたい」という思いを大切に、釜石産や岩手県産の魚を積極的に使っています。

近年は水揚げが不安定で価格も変動する中、養殖が始まったサクラマスを給食向けにサイズ調整するなど、工夫を重ねています。

肉料理や手軽な食品が増える中、魚を食べる習慣そのものが減っているといいます。だからこそ、川畑さんは学校給食には大きな役割があると考えています。「給食が魚を食べるきっかけになって、おいしいと思ってもらえたらうれしいですね。」

現在はサクラマスに加え、釜石で養殖が進められている銀ザケにも期待を寄せています。「銀ザケも脂のついていておいしい魚です。今後は給食でも食べてもらえるようにしていきたいです。」

地域の海で育った魚を地域の子どもたちが味わう。その循環を未来につなげていきたい。給食に並ぶ魚には、生産者や事業者のそんな願いが込められています。

子どもたちに安全でおいしい食材を

有限会社工藤精肉店 代表取締役 工藤 正巳 さん



工藤精肉店では、肉や野菜を学校給食に届けています。工藤さんは給食に関わるうえで何よりも大切にしていることがあると言います。「子どもたちはこれから成長していく世代です。だからこそ、できるだけ良いもの、おいしいものを食べてもらいたいと思っています。」

そんな思いから、県産品や国産品を子どもたちに提供することを大切にしているといいます。「価格だけを優先すれば安価な食材を選ぶこともできますが、将来を担う子どもたちに提供する給食だからこそ、安全性や品質を重視しています。」

震災後、市内で学校給食向けに野菜を納める事業者が少なくなったことから、新たに野菜の供給にも取り組むようになり、現在は肉だけでなく野菜も給食センターへ納めています。少子化や人口減少が進み、地域の事業者を取り巻く環境は年々厳しくなる中、それでも工藤さんは、学校給食を地域全体で支えていくことの大切さを強調します。「給食は子どもたちの成長を支える大切なものです。私たちも地域の一員として、これからも協力していきたいと思っています。」

何気なく食べている一食の給食。その裏側には、子どもたちの健康と成長を願い、安全でおいしい食材を届けようとする多くの人たちの思いがあります。